



(撮影：郷司 正巳)

健康的でシンプルな作品を

名誉県民

陶芸家 島岡 達三さん

●島岡さんのコメント

名誉県民の称号は、焼き物一筋できたということ、いただいたのだと思います。大変ありがたいことです。とても名誉なことですが、それだけに責任の重さも感じています。益子に来てから五十六年に

やっていると、細かい技巧的なことに走りがちになります。それらを洗い落として、スタートしたときの極めて健康的でシンプルな手法に戻ってみたいと考えています。

●島岡さんの経歴

島岡さんは東京都の出身。

T O C H I G I

県民だより

6

2002 月号

編集・発行 栃木県広報課
平成14年6月15日発行

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 (6月1日現在)

2,007,512人 (前月比 +2,817人、前年同月比 +2,264人)
◎男 996,667人 ◎女 1,010,845人 ◎世帯数 682,977世帯

郷土の誇り 尊敬と親愛の 気持ちをこめて

本県初の名誉県民に島岡達三さん、
県民荣誉賞に船村徹さんと
渡辺貞夫さん

栃木県名誉県民・栃木県民荣誉賞は昨年12月につくられました。本県にゆかりのある方の功績を県民の皆さんとともにたたえるものです。表彰式は県民の日の今日、県総合文化センターで行われます。

栃木県名誉県民

県民が郷土の誇りとして敬愛する方に対し、その功績をたたえるため贈られる称号です。本県に居住する、または居住していた方で、産業経済の発展、保健医療の向上、福祉の増進または学術、文化やスポーツの振興に貢献した方を対象にしています。

栃木県民荣誉賞

県民に明るい希望と活力を与えた功績に対し贈られるものです。本県にゆかりがあり、学術やスポーツなどの分野で特に顕著な功績を挙げた方や団体を対象にしています。

◇問合せ 県人事課
☎028-623-2034

ふるさとの賞が一番うれしい

県民荣誉賞 作曲家 船村 徹さん



●船村さんのコメント

これまでいろんな賞をいただいたのですが、生まれ育ったふるさとから認められたという意味で一番うれしい賞です。激動の中で青春時代を過ごしましたから、ふるさとに対する思い入れもまたひとしおの感があります。そのふるさとからいただいた賞ですから、音楽を始めた五十年前は、音楽を職業にするなどという時代ではありませんでした。五十年経って、それが認められたということ、はともうれしいことです。これからも演歌巡礼の旅を続け、

●船村さんの経歴

船村さんは船生村(現在の塩谷町)の出身。デビュー以来、演歌の第一人者として数多くのヒット曲を生み出してきました。昨年、作曲家活動五十周年を迎えています。主な作品には「別れの一本杉」「王将」「矢切の渡し」などがあります。平成九年に日本作曲家協会会長に就任し、音楽の向上にも貢献しています。現在、とちぎ特使としても活躍いただいています。

これからも子どもたちと音楽を

県民荣誉賞 サックス奏者 渡辺 貞夫さん

●渡辺さんのコメント

大変光栄に思います。先日、高校時代の同窓会があつて、旧友たちが県民荣誉賞受賞を祝ってくれました。僕の少年時代を育んでくれた友人や郷土の自然、それが今の僕の活動の土台になっています。その郷土の県民荣誉賞ですから、子どもたちにも光栄です。子どもたちにドラムの指導をするリズムスクールのも七年目になります。街のあちこちからドラムの練習の音が聞こえるような、音楽にあふれた街が僕の夢。これからも子どもたちの指導を続けたいですね。

●渡辺さんの経歴

渡辺さんは宇都宮市の出身。ジャズのサックス奏者として国際的に活躍され、その輝かしい活動で音楽界をリードしてきました。昨年、プロ活動五十周年を迎えています。また平成



七年、本県で開催された国民文化祭への出演をきっかけに、子どもたちに音楽を指導するリズムスクールの活動を続けています。主なアルバムは「カルフオルニア・シャワー」「モーニングアイランド」など。現在、とちぎ特使としても活躍いただいています。

考えてみましよう 環境にやさしいエネルギー

私たちの

便利で快適な生活は、

エネルギーによって

支えられています。

でも、環境に大きな負荷を

かけているとしたら。

エネルギーが無くなって

しまつたら。

今、環境にやさしく

使つても減らない

新エネルギーの導人が

求められています。



世界の風車などが展示してある「風と光の広場」。公園として開放されています(足利工業大学)

エネルギーは転換期を迎えています

新エネルギーとはどのようなエネルギーなのでしょう。足利工業大学の牛山泉教授に聞きました。

地球温暖化防止のために

今、地球温暖化や酸性雨といった環境問題が世界中で起きています。これは、石油や石炭、天然ガスなど化石エネルギーから出る二酸化炭素や硫酸、黄酸化物などが原因です。これらの物質を減らさなければなりません。また、化石エネルギーは有限です。エネルギーの中東依存も問題ですね。いったん何か起きると大変です。こうしたたくさんさんの問題を

解決するために、新エネルギーが注目されているのです。

新エネルギーは クリーンなエネルギー

新エネルギーと言っても、その種類は様々です。代表的なものは自然エネルギーです。無限に降り注ぐ太陽の力を利用する太陽光発電と太陽熱利用、そして風力発電ですね。それからバイオマスもあります。これは、森林や動物の排泄物を様々なエネルギーに変えて利用するものです。ごみを使って発電する廃棄物発電もリサイクル型の新エネルギーです。



足利工業大学工学部 牛山泉教授

そして、今最も注目されているものが燃料電池です。水素に酸素を加えて電気をつくる仕組みで、発生する物質が水だけなのでとてもクリーンなエネルギーです。二十一世紀半ばには、これが主流になると言われています。

掘り出すエネルギーから 栽培するエネルギーへ

二十世紀、私たちは化石エネルギーを掘り出し、消費する生活を送ってきました。日本人が一日に使う石油の量は五リットルにもなります。

このようにエネルギーを掘り出している状況を人類の歴史に例えてみると、今はまだ狩猟の時代と言えるかもしれません。人類は獲物を追う生活から、食料を栽培するようになって、豊かで文化的な生活が可能になりました。

エネルギーも採掘する時代から太陽や風などを使って栽培する時代に入らなければなりません。栽培するエネルギーこそクリーンエネルギーなのです。持続可能な社会を築くためにも、今が転換期だと思えます。

地域の特色を生かして

家庭や地域など小さな単位で考えてみると、必要なエネルギーはそれほど大きいものではないかもしれません。地域の特色を生かし、エネルギーを自前でまかなうこともできるのです。例えば、山形県の立川町では、強い風を生かして、風力発電で町の電力の三割以上をまかなっています。

栃木県は日照時間が長いので、太陽光発電と太陽熱利用が適しているでしょう。

エネルギーは選ぶ時代です

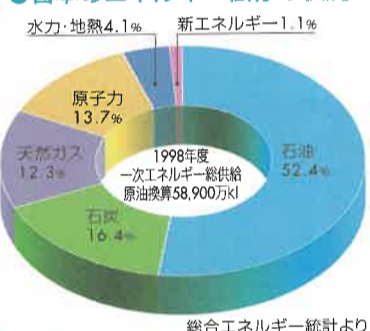
多くの人は、エネルギーは生活とかけ離れた遠い所で造られていて、与えられるものという感覚を持っています。しかし、私たちはエネルギーを浪費して環境を壊しているという現状を、まず知ることが大切なのではないでしょうか。

コストは高めでもエネルギーが選択できるようにしてきました。どのエネルギーを使えばいいのか自分たちで考えて、選ぶ時代です。私たちの意識が問われているのです。

「地球の温暖化」とは

二酸化炭素などの温室効果ガスが増加し地球を取り囲むことで、地球の気温が上昇することを地球の温暖化といえます。温暖化が続くと、異常気象の発生など様々な影響が出ることが予想されます。県では、2010年の温室効果ガスの排出量を1990年に比べ6%削減することを目指しています。

日本のエネルギー依存の状況



身近なエネルギーではじまっています

企業・県・家庭での取り組み

環境にやさしい企業をめざして

高根沢町にあるキリンビール(株)栃木工場では平成十一年に燃料電池を設置しました。工場を使う電力の三割近くを燃料電池からの電力でまかなっています。また、発電で生じたお湯もビンの洗浄などに利用しています。

「環境にやさしい工場づくりの一環として燃料電池を導入しました。導入にはかなりの経費がかかりましたが、ビールは水が命ですから、水を守るといふ観点からも環境保全には特に力を入れて取り組んでいます。企業は、社会の一員として、環境に対する責任は非常に大きいと思います」と環境室長の竹内敏彦さんは話



キリンビールの燃料電池

発電の際に発生する水は、ピオトープにも利用されます

排水処理の過程で発生するメタンから水素を取り出し、酸素と化学反応させて電気をつくります

県内のエネルギー消費量の半分近くは企業が占めています。多くの企業で新エネルギーの導入がすすむことが期待されています。

県も導入をすすめています

県では、事業者や県民の皆さんに関心を持っていただくため、率先して公共施設に新エネルギーを導入し、普及啓発に努めています。

これまでに足利工業高校と本町合同ビルに太陽光発電システムを設置、今年度も新工業技術センターなど三施設に導入します。また、公用車をクリーンエネルギー自動車に積極的に転換しています。



天然ガス車の公用車。ハイブリッド自動車の導入もすすめています

我が家が発電所に。環境のためにできること

最近では、太陽光発電システムを住宅に設置する人が増えてきています。

小山市にお住まいの星野繁さんのお宅では、自宅の新築にあわせて、四・九キロワットの太陽光発電システムを導入しました。「以前から環境問題に関心を持っていました。将来は太陽光発電の家が主流になるだろうと思って」と星野さんは話します。昼間発電し、



晴れた日は発電日和。熱源はすべて電気にしましたが、光熱費の負担は月1万円以上軽くなったそうです

余った電力を電力会社に販売、夜間は従来どおり電力会社から電力を購入します。「発電量と電気使用量が居間にいながら確認できます。電気のスィッチをこまめに消すなどして、楽しみながら電気使用量を減らしています」と星野さん。「自宅でも発電することによって省エネに対する意識も高まっています」

また、ハイブリッド自動車も比較的簡単に導入できます。利用している方は「通勤で毎日乗りますが、とても静かで乗り心地がいいですね。燃費もいいですし、性能にも満足しています」と言います。

こうした新エネルギーの導入には様々な支援制度(※)が用意されています。また、月々わずかな負担で新エネルギーの普及に参加できるグリーン電力基金制度も

支援制度をご活用ください(※)

太陽光発電

○家庭に設置される太陽電池は3~5kwが一般的です。例えば、5kwの太陽電池を設置した場合、50万円(1kwあたり10万円)の補助が受けられます。(財)新エネルギー財団 <住宅金融公庫>

グリーンエネルギー自動車

○通勤で使用する方には、同クラスの通常車両との価格差のほぼ2分の1が補助されます。例えば、220万円のハイブリッド自動車を購入した場合、通常車両の価格を170万円とすると、25万円程度が補助されます。<新エネルギー・産業技術総合開発機構>
○自動車取得税の税率が軽減されます。

◇問合せ 県環境政策課
TEL 028-623-3187

8月5日から、住民基本台帳ネットワークシステムの運用が始まります

住民の皆さんへ次のようなサービスを提供します

一口メモ

◆6月15日は県民の日です

「県民の日」は、県民一人ひとりが郷土を見直し、県民としての体感を深くくみ、より豊かな栃木県を築き上げようと、昭和60

年に制定されました。6月15日は、明治6年に栃木県と宇都宮県が合併し、おおむね現在と同じ栃木県が誕生した日です。県民の日記念行事は、今年で17回目を迎えます。

「県民の日」マスコット、「ルリちゃん」



県鳥「オオルリ」が県木「トチノキ」の葉を持ちほほえまかけています。名前の「ルリちゃん」は、公募で選ばれました

8月から順次実施されるサービス

各種行政手続きにおいて
住民票の写しの添付が不要となります



住基ネットで確認
できますので、住民票
の写しは不要です。

例えば…

- 労災保険の受給申請手続き
- 雇用保険の受給申請手続き
- 恩給・共済年金の受給申請手続き
- 建築士の免許申請手続き
- 宅建資格の登録申請手続き

などでの利用が考えられます。

平成15年8月(予定)から実施されるサービス

全国どこの市区町村でも
住民票の写しの交付が受けられます



住基ネットで、
どこでも住民票の
写しがとれます!

引越しのときに、窓口に行くのが
1回だけですみます



住基基本台帳カードを
持っている方は、窓口に行くのが
転入時の一回ですみます!

※事前に郵送での
転出手続きが必要ですよ

さらに将来は…

インターネットを活用した申請に際し
住民票の写しの添付に代わる役割を果たします



住基ネットを活用し、
インターネット申請を
可能とする方を講じます。

住民基本台帳カード

住民の皆さんの申請で、市町村から交付されるものです(平成15年8月から実施の予定)。このカードがあれば、全国どこでも住民票の写しの交付が受けられるなど法律で定められたサービスが利用できます。また、市町村が独自に行政サービスに活用することができるため、印鑑登録証や福祉サービス・公共施設の利用カードとしての活用も考えられます。

◆住民基本台帳ネットワークシステムとは…

住民基本台帳ネットワークシステム(住基ネット)は、全国の市区町村と都道府県・指定情報処理機関(財)地方自治情報センター)をネットワークで結ぶことにより、住民の皆さんへのサービスの向上を図るとともに、住民基本台帳に関する事務や行政機関等が行う給付事務・資格付与事務などを効率的に行うものです。将来は、インターネットを活用した行政手続きを可能にするなど、IT社会に対応するためのシステムでもあります。

本年8月5日から一部運用が開始され、住民の皆さんへも順次、様々なサービスが提供されます。また、システムの運営のため皆さんの住民票に住民票コードが記載されます。この住民票コードは市町村から皆さんへ通知されますので、ご確認ください。

◇問合せ 県地方課 ☎028-623-2120

◆個人情報保護は厳重に保護されます

住基ネットでは、個人情報保護に関する国際基準をふまえ、制度面や技術面・運用面において万全の保護対策を講じています。

県や指定情報処理機関に記録・保存される情報は、氏名・生年月日・性別・住所・住民票コード・付随情報(異動年月日など)に限られており、安全性の高い専用回線や通信データの暗号化などにより情報の漏えいや改ざんなどを防止します。



住民票コード

無作為の数字の組み合わせによる11桁のコードです。なお、皆さんの申請でいつでも変更することができます。民間部門は住民票コードを利用することももちろん、住民票コードの情報を蓄積することも禁止されています。行政機関による利用も法律で限定された目的に制限されています。

★県政トピックス

Topics 1 皇太子ご一家 那須でご静養

皇太子同妃両殿下と敬宮愛子さまは、五月八日から十四日まで、ご静養のため那須御用邸に滞在されました。九日には、那須町にある牧場をお訪ねになり、馬や羊などをご覧になりました。また、愛子さまは子うさぎに触れられるなど、ご一家で牧場の散策を楽しまれました。



那須塩原駅に到着された皇太子ご一家。駅前では約1,500人がお出迎えしました

Topics 2 緑豊かな「とちぎ」を 次の世代へ

五月十一日、日光市の日光小倉山森林公園で、県植樹祭が開かれました。開会式で知事は「豊かな森や緑は、私たちの生活にとって大切なもの。県民の皆さんとともに美しく豊かな「とちぎのみどり」を守り育てたい」とあいさつ。参加者は同公園内に約百七十本のトチノキやイチイなどを植樹しました。



緑の少年団員(江連美里さん、福田須美子さん)と一緒にトチノキを植樹する福田知事

Topics 3 不法投棄 パトロール隊が出発

県では、六月の環境月間に合わせ、不法投棄や不適正処理の監視・指導を強化しています。今年は、市町村監視員など総勢百五十人からなる「不法投棄パトロール隊」を編成し、六月三日に出発式を行いました。知事の激励を受けた北村隊長は「かけがえのない栃木の自然、安全な生活環境を守るため、不法投棄を根絶します」と力強く決意を表明。隊員たちは、県内各地の巡回監視に出発しました。



「不法投棄を一掃する」という気持ちでとどろく「ほしい」と福田知事から激励を受けるパトロール隊員。今年度、大幅に増員されました

分度推議立県

分度推議による「とちぎづくり」

投資と分度推議



少し前になるが、小泉内閣メールマガジンに柳澤金融担当大臣の「金次郎と株」と題した、こんな内容の一文が載っていた。

わが国の個人金融資産は約千四百兆円。そのうち、預貯金が半分以上で株などの証券投資は僅か一割強。これに対しアメリカでは、預貯金が一割程度で、証券投資が五割以上。まるで逆である。そして「勤儉・貯蓄の勧め」と思っていた二宮尊徳の「報徳思想」は、実は預貯金よりも投資の勧めではないかと考えている。

「報徳思想」の中核は、「勤労・分度・推議」。「所懸命働いて、収入は限度をわきまえて使

(分度) 残りは寄付する「推議」。推議を受けた人が事業で成功したときには、必ずお礼すると考えれば、推議は「投資」で、お礼は「配当」と見ることができ

なるほど、様々な解釈があるものだなと感じ入るとともに、積極的な分度と推議は現代に通じるものであり、様々な面で活かしていくことができる考えであると改めて得心した。

(栃木県知事 福田昭夫)

※分度推議立県の考え方の詳しい説明は県のホームページをご覧ください

